

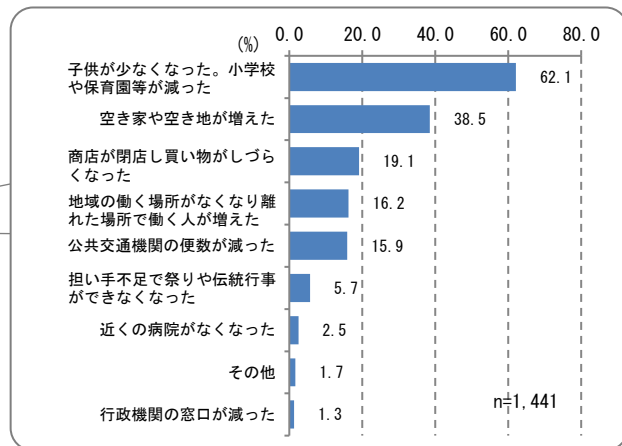
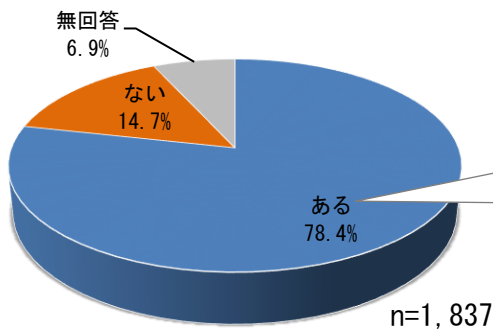
### 3. 分野別取組について

#### 【人口減少対策について】

問 7 全国的に少子高齢化や人口減少が進んでいます。あなたがお住まいの地域でもその影響があると感じることはありますか。(○は1つ) また、「ある」と回答した方は、どのようなことに感じますか。(○は2つまで)

#### 【調査結果 (ポイント)】

少子高齢化・人口減少の影響は「ある」の回答が約8割  
影響を感じるのは「子供が少なくなった。小学校や保育園等が減った」がトップ

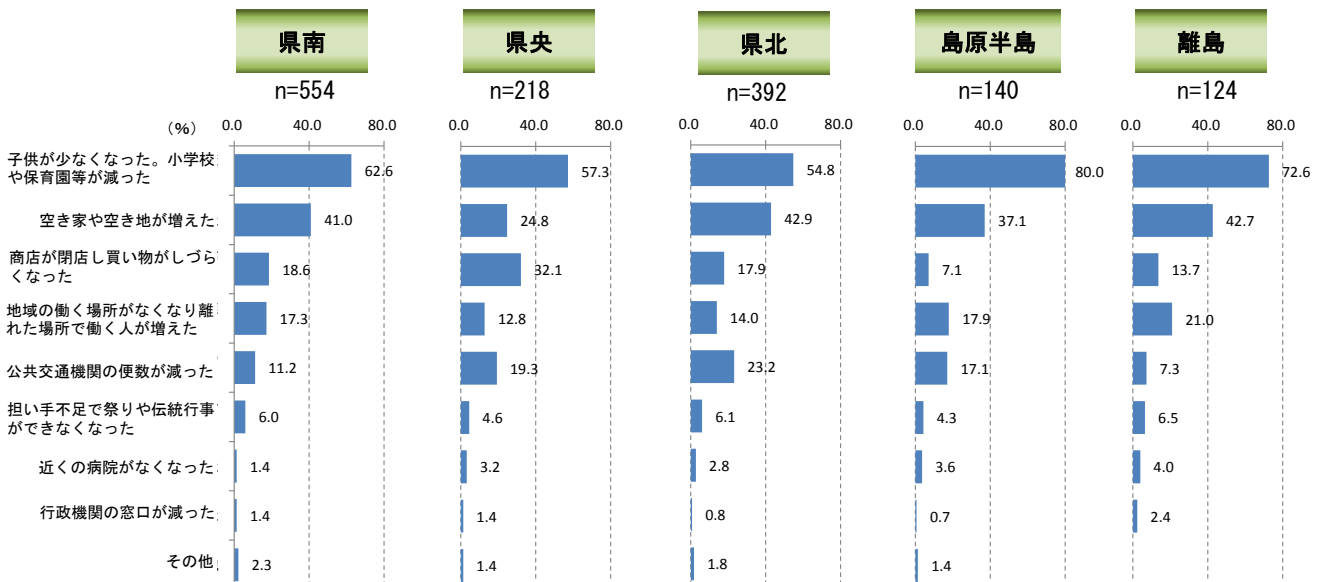


#### 【全体】

少子高齢化・人口減少の影響が「ある」と回答したのは78.4%となっている。

影響を感じるのは、「子供が少なくなった。小学校や保育園等が減った」が62.1%で最も多く、次いで、「空き家や空き地が増えた」38.5%、「商店が閉店し買い物がしづらくなった」19.1%と続いている。

#### 【地域別】

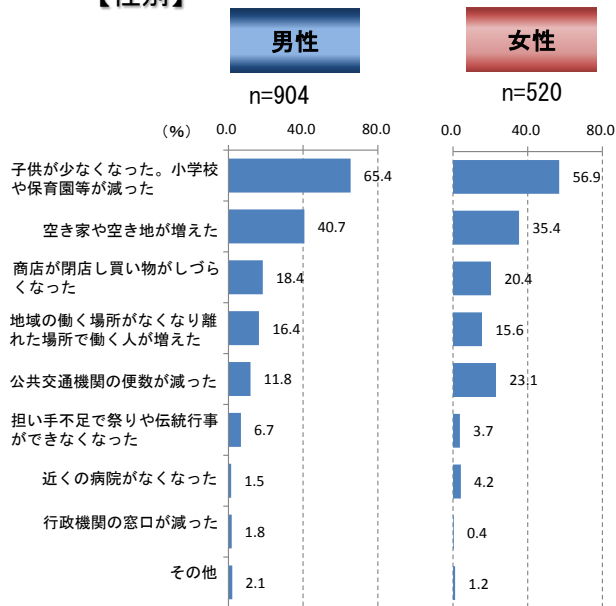


### 【地域別】

上位 5 項目の全体との大きな相違は見られないが、県央地域は「商店が閉店し買い物がしづらくなった」が 2 位、「空き家や空き地が増えた」が 3 位となっており、県北地域は「公共交通機関の便数が減った」が 3 位となっている。島原半島地域は「地域の働く場所がなくなり離れた場所で働く人が増えた」が 3 位、「公共交通機関の便数が減った」が 4 位となっており、離島地域は「地域の働く場所がなくなり離れた場所で働く人が増えた」が 3 位となっている。

また、島原半島地域・離島地域では 1 位の項目「子供が少なくなった。小学校や保育園等が減った」が他の地域より 10 ポイント以上高くなっている。

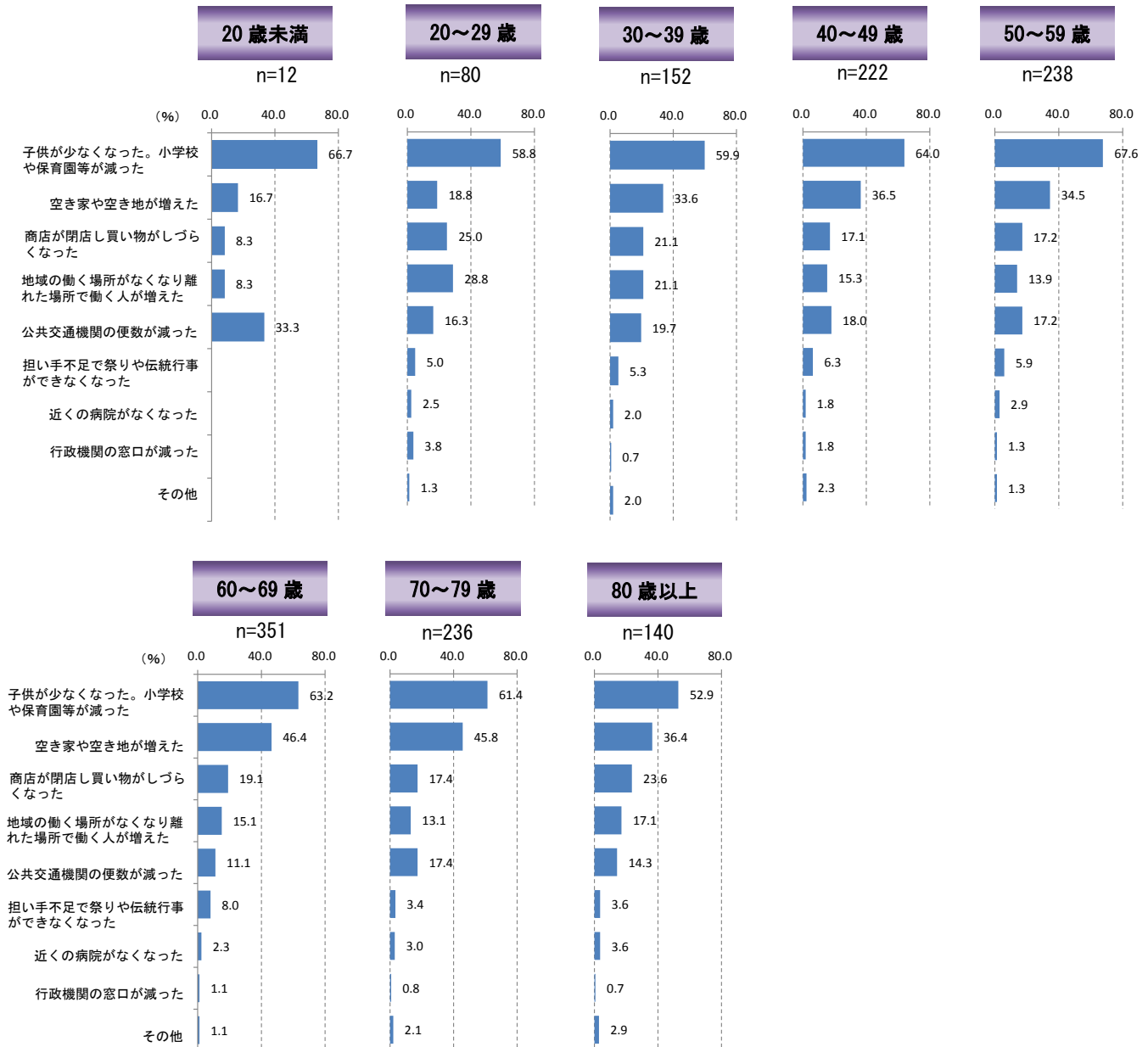
### 【性別】



### 【性別】

上位 5 項目の全体との相違は、男性の順位の変動はないが、女性は「公共交通機関の便数が減った」が 3 位に繰り上がっている。

## 【年齢別】



## 〔年齢別〕

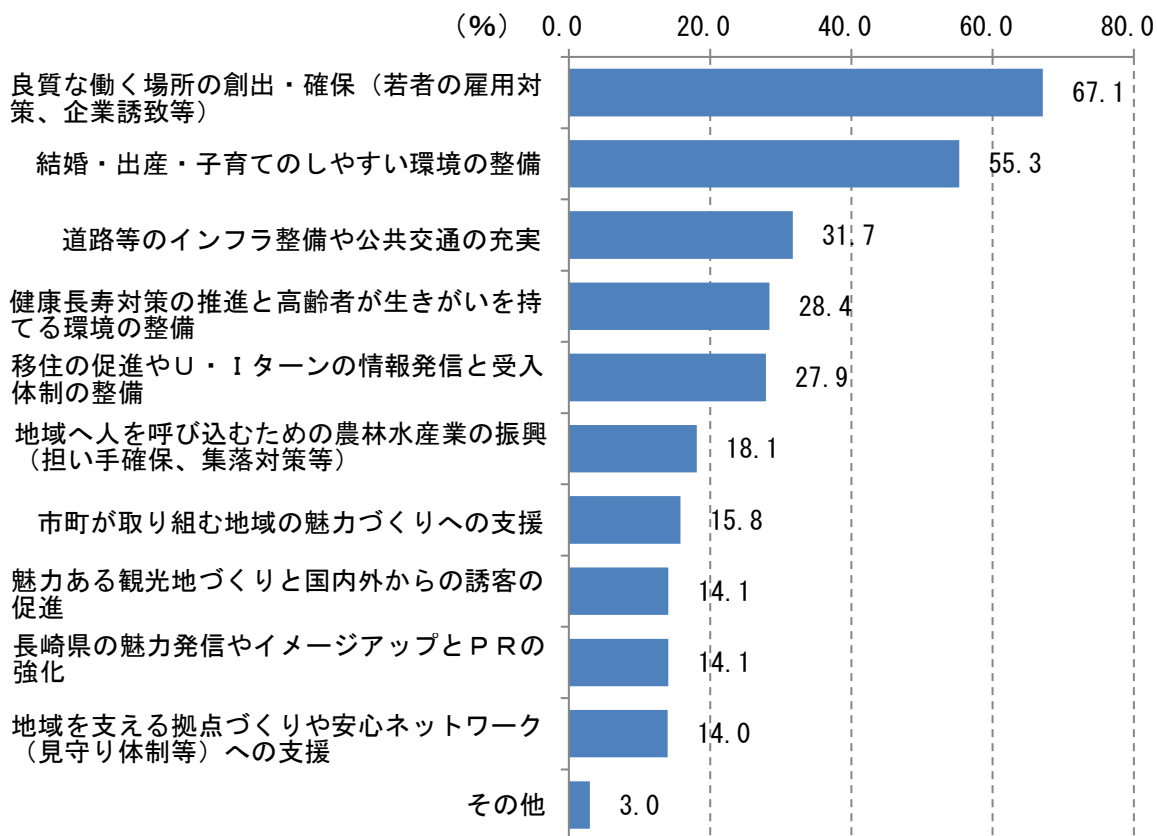
年齢の変化による、上位5項目の大きな順位変動は見られない。全体との相違が見られるのは、50歳代・70歳代で「公共交通機関の便数が減った」が3位となっている。

問 8

本県でも、人口減少に歯止めをかけるために、様々な施策に取り組んでいます。本県が、今後、より強化すべきと思う取組は何ですか。(〇はいくつでも)

【調査結果（ポイント）】

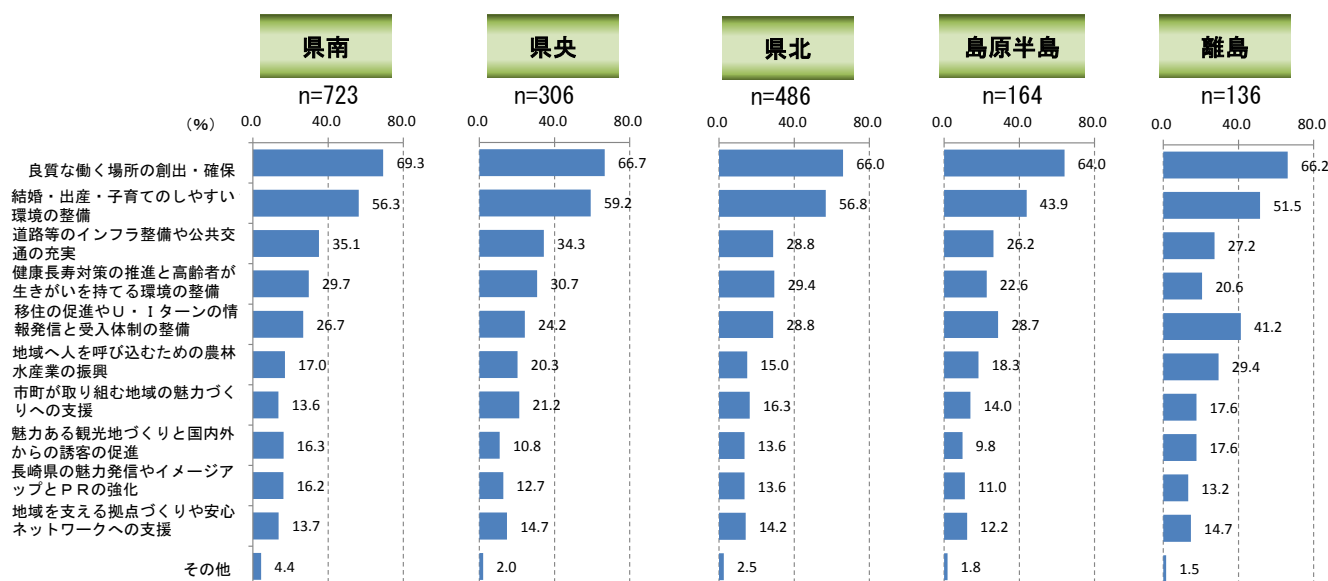
今後、より強化すべきと思う取組は  
**良質な働く場所の創出・確保（若者の雇用対策、企業誘致等）が約7割でトップ**



〔全体〕

今後、より強化すべきと思う取組は、「良質な働く場所の創出・確保（若者の雇用対策、企業誘致等）」が67.1%で最も多く、次いで、「結婚・出産・子育てのしやすい環境の整備」55.3%、「道路等のインフラ整備や公共交通の充実」31.7%と続いている。

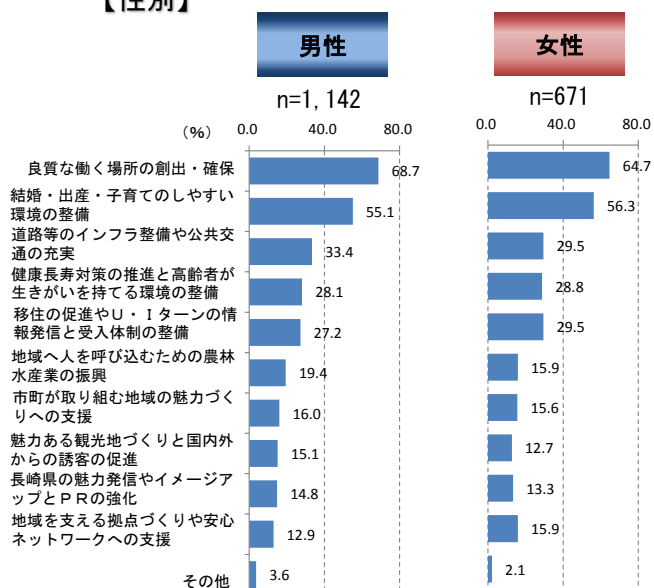
## 【地域別】



## 〔地域別〕

県南地域・県央地域では上位5項目の全体との大きな相違は見られないが、県北地域は「道路等のインフラ整備や公共交通の充実」が4位、「健康長寿対策の推進と高齢者が生きがいを持てる環境の整備」が3位となっており、島原半島地域・離島地域は「移住の促進やU・Iターンの情報発信と受入体制の整備」が3位となっており、離島地域では他の地域と比べ10ポイント以上高くなっている。

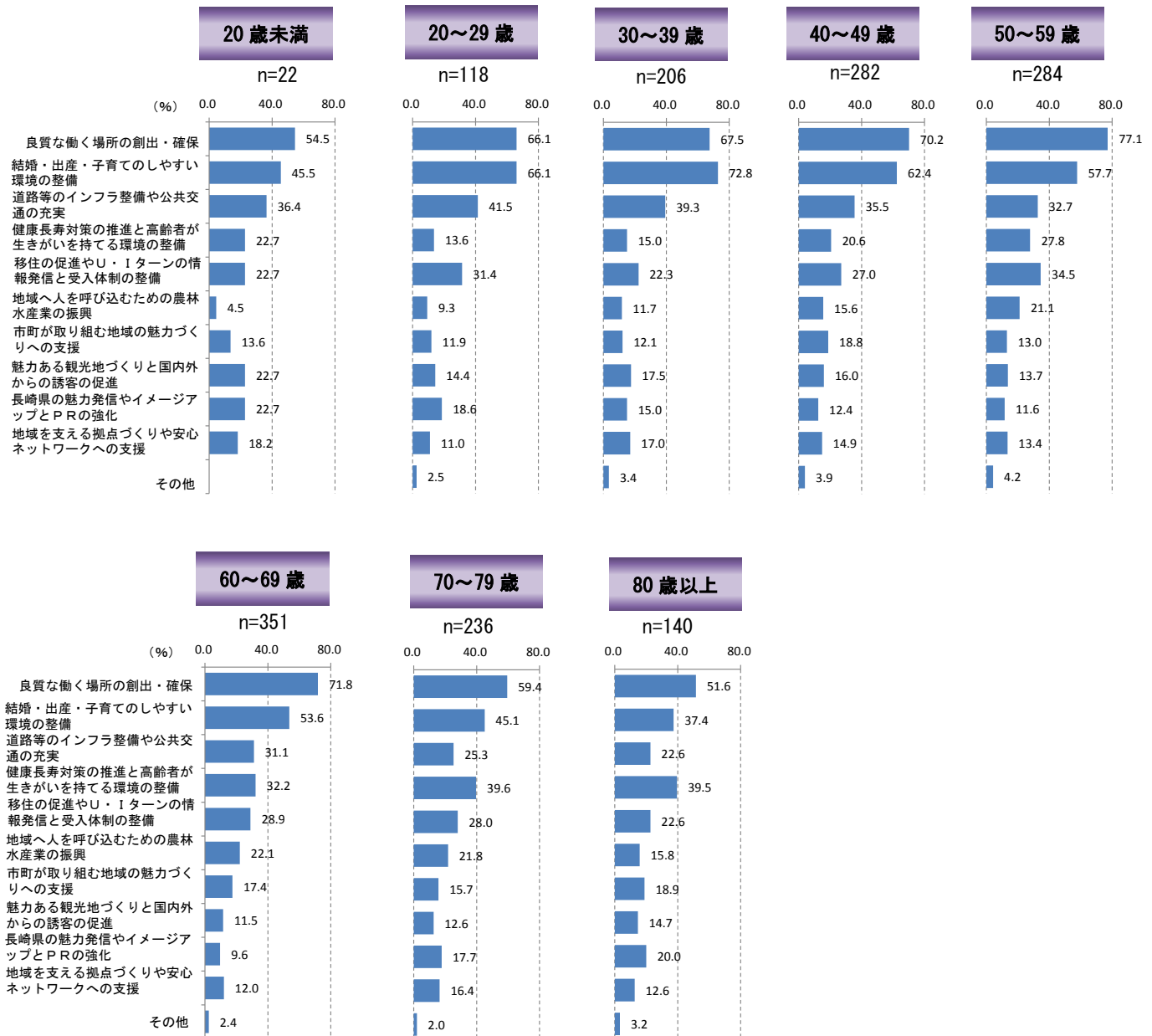
## 【性別】



## 〔性別〕

全体との上位5項目の相違は、男性の順位の変動はないが、女性は「移住の促進やU・Iターンの情報発信と受入体制の整備」が3位に繰り上がっている。

## 【年齢別】



## 〔年齢別〕

年齢の変化により、上位5項目は変動がある。全体との相違は、20歳未満では「健康長寿対策の推進と高齢者が生きがいを持てる環境の整備」「移住の促進やU・Iターンの情報発信と受入体制の整備」「魅力ある観光地づくりと国内外からの誘客の促進」「長崎県の魅力発信やイメージアップとPRの強化」が同率4位、20歳代で「長崎県の魅力発信やイメージアップとPRの強化」が5位、30歳代で「魅力ある観光地づくりと国内外からの誘客の促進」が5位、60歳代、70歳代は「健康長寿対策の推進と高齢者が生きがいを持てる環境の整備」が3位となっている。

また、「健康長寿対策の推進と高齢者が生きがいを持てる環境の整備」の項目で80歳以上は2位に繰り上がっている。

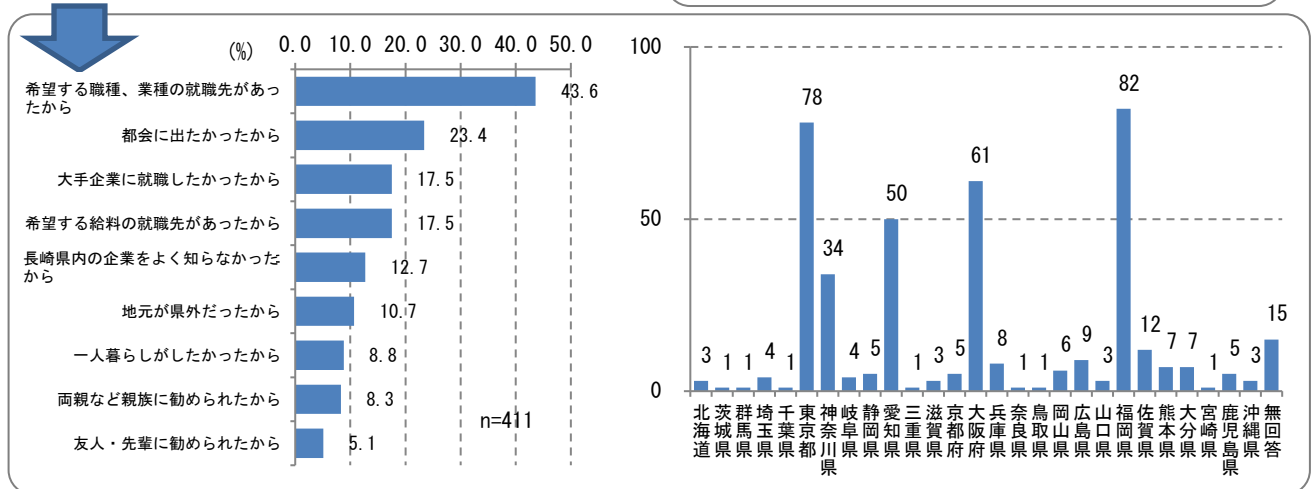
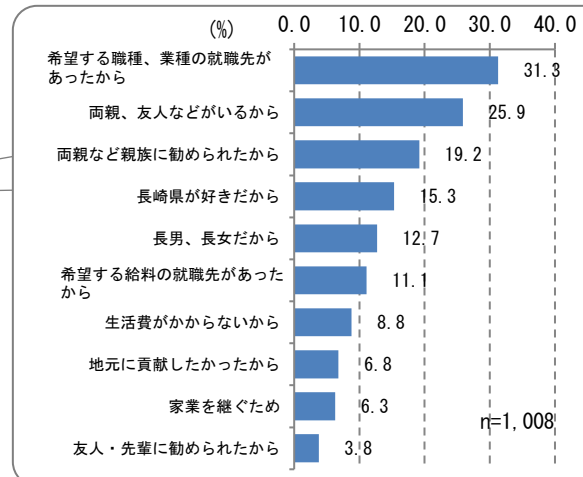
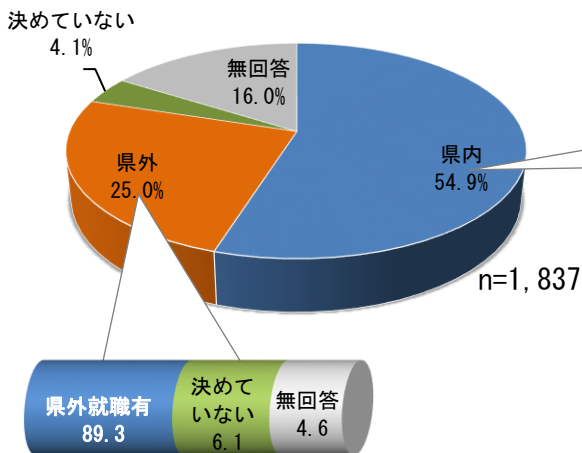
## 【雇用対策について】

問 9

あなたが就職する時に、長崎県内と県外どちらを選びますか。なお、既に就職した経験のある方は、最初の就職先は長崎県内と県外どちらでしたか。県外の場合は、その都道府県も記入ください。(○は1つ)  
また、就職に県内又は県外を選んだ理由は何ですか (○は3つまで)

### 【調査結果 (ポイント)】

**県内就職が約 5 割、県外就職約 3 割**  
**県内・県外ともに「希望する職種、業種の就職先があったから」がトップ**



### 【全体】

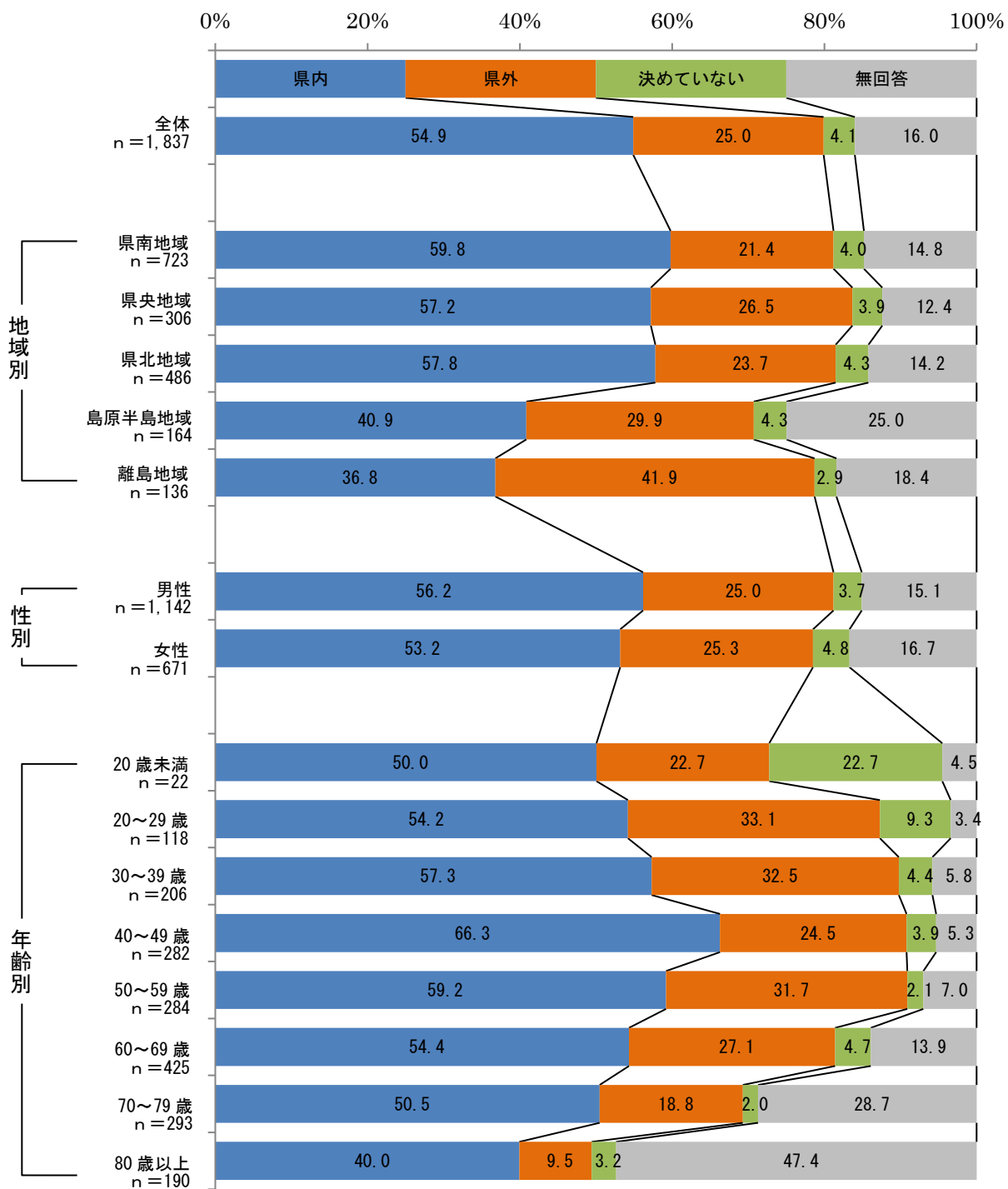
就職先として選ぶのは、「県内」が 54.9%で多く、「県外」25.0%であった。

就職先を選んだ理由は、県内・県外ともに「希望する職種、業種の就職先があったから」が1位となっている。

2位以下について「県内」を選んだ方では、「両親、友人などがいるから」が25.9%、「両親など親族に勧められたから」が19.2%、「長崎県が好きだから」15.3%と続いている。

一方、「県外」を選んだ方は、「都会に出たかったから」が23.4%で2位、次いで「大手企業に就職したかったから」「希望する給料の就職先があったから」が続いている。また、就職先として最も多い都道府県は、「福岡県」「東京都」「大阪府」の順となっている。

〔地域別・性別・年齢別比較〕



〔地域別〕

県内就職は、県南地域が 59.8% で最も多く、次いで県北地域・県央地域・島原半島地域・離島地域の順となっている。

一方、県外就職が最も多いのは離島地域の 41.9% で県内就職を 5.1 ポイント上回っている

〔性別〕

性別での大きな相違は見られない。

〔年齢別〕

県内就職は 40 歳代が唯一 6 割を超え、県外就職は 20 歳代・30 歳代・50 歳代が 3 割を超えており、おおよそ県内 2 : 県外 1 の割合となっている。

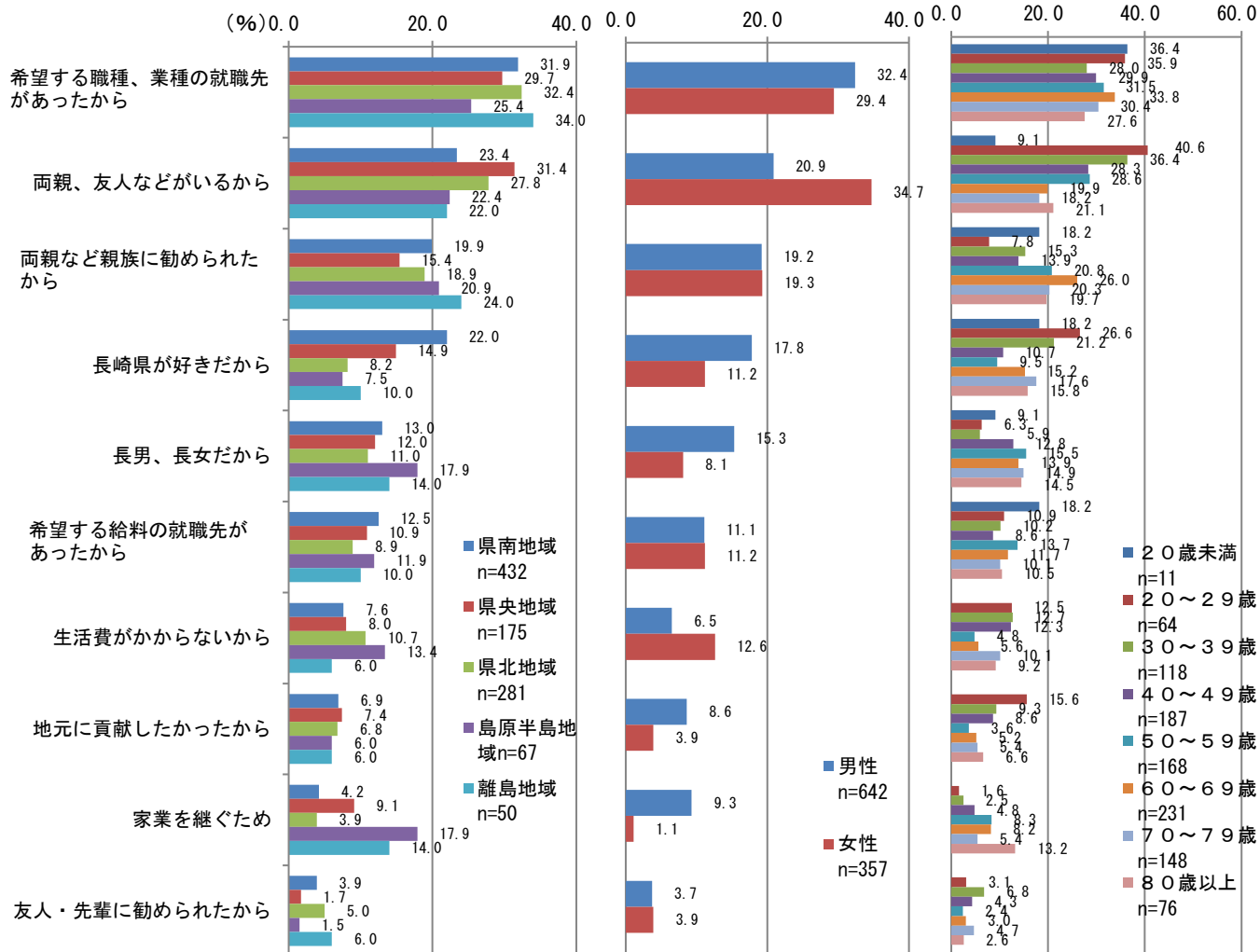


【県内就職の理由】

〔地域別〕

〔性別〕

〔年齢別〕

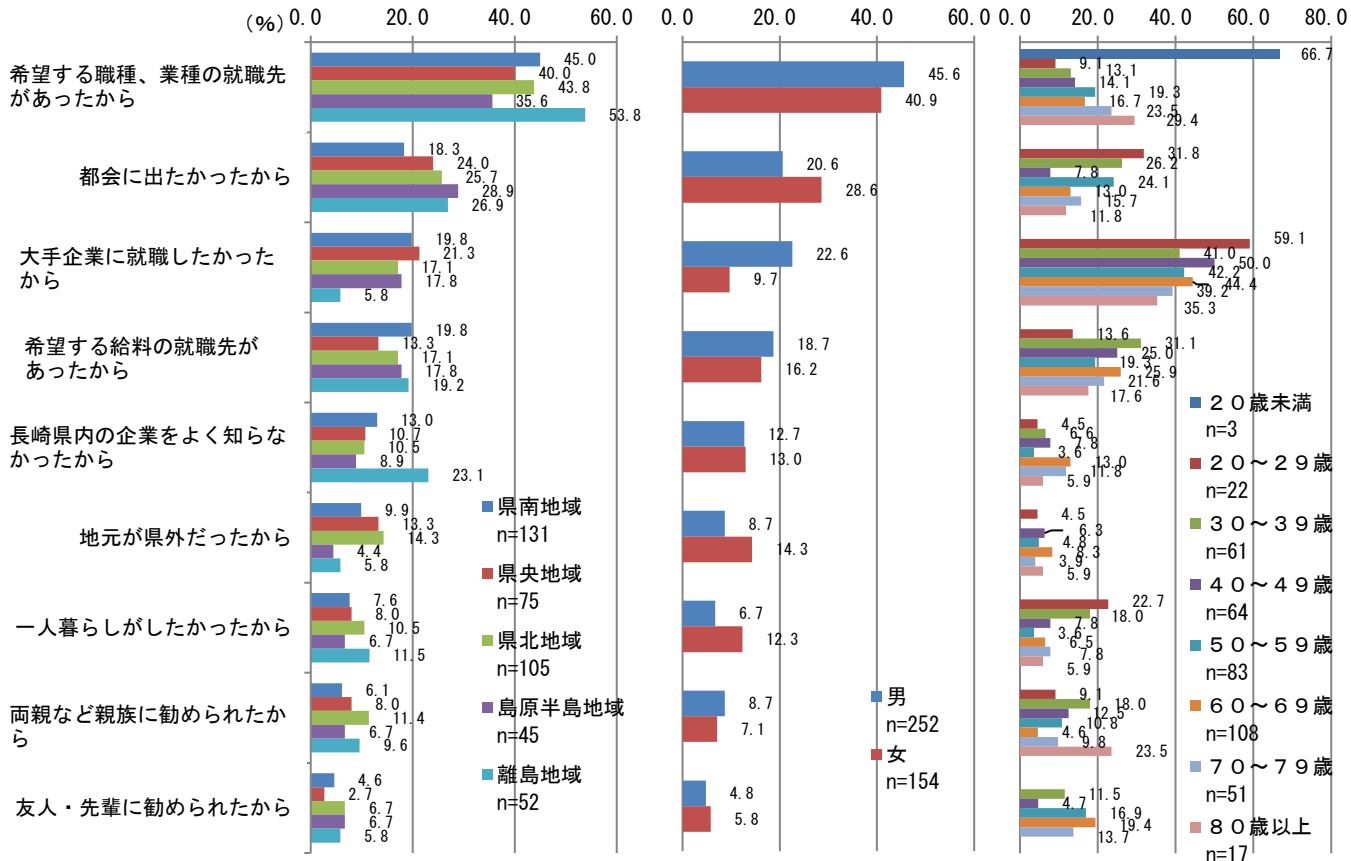


【県外就職の理由】

〔地域別〕

〔性別〕

〔年齢別〕

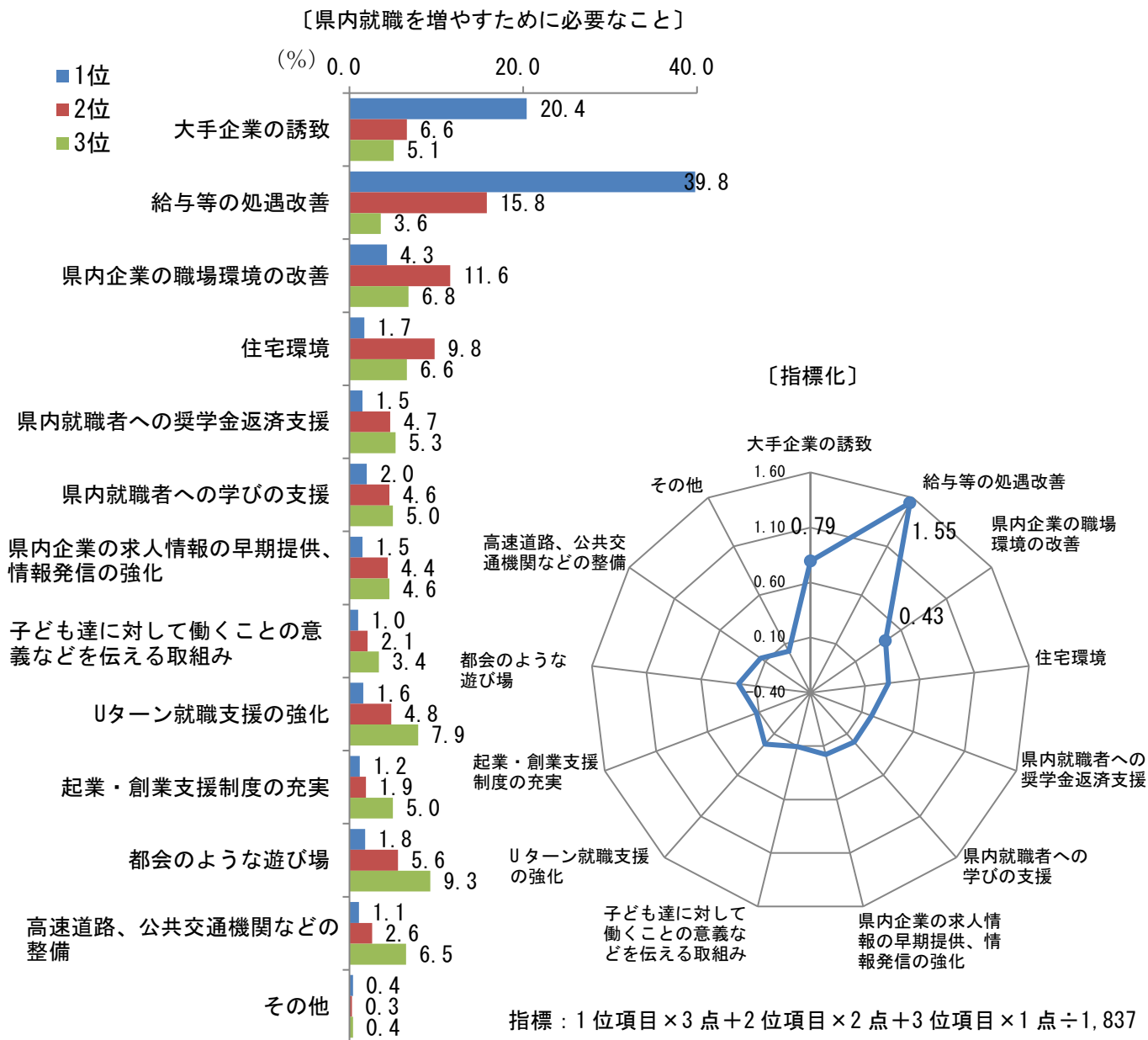


問 10

就職する時に県内を選択する若者を増やすためにはどうしたらいいですか  
(最も必要なものから順番に最大3つまで)

【調査結果 (ポイント)】

**若者の県内就職を増やすために最も必要なことは、「給与等の処遇改善」がトップ**



県内の若者を増やすために最も必要なものは、1位の項目では「給与等の処遇改善」が39.8%で最も多く、次いで「大手企業の誘致」「県内企業の職場環境の改善」が続いている。

2位の項目は「給与等の処遇改善」が15.8%で最も多く、次いで「県内企業の職場環境の改善」「住宅環境」が続いている。

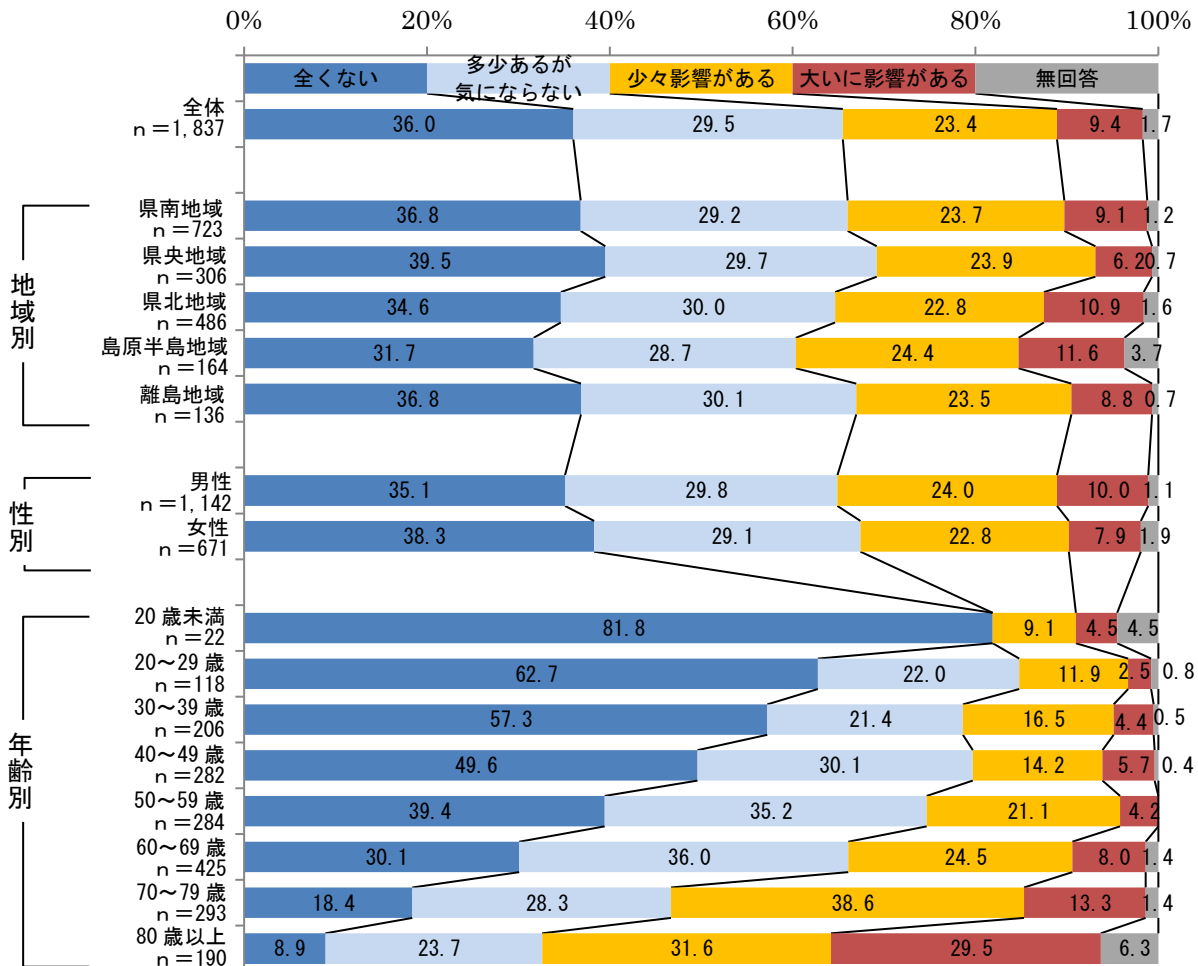
3位の項目では、「都会のような遊び場」が9.3%で最も多く、次いで「Uターン就職支援の強化」「住宅環境」が続いている。

以上の1~3位の項目を指数化して比べてみると、「給与等の処遇改善」が1位、「大手企業の誘致」が2位、「県内企業の職場環境の改善」が3位となった。

問 11 あなたは、現在、健康上の理由で日常生活に何らかの影響がありますか。  
(○は1つ)

【調査結果 (ポイント)】

健康上の理由で日常生活に何らかの影響があると回答したのは約3割  
年齢の上昇とともに「全くない」は減少



【全体】

健康上の理由で日常生活に影響がない（「全くない」＋「多少あるが気にならない」）の65.5%に対して、日常生活に影響がある（「少々影響がある」＋「大いに影響がある」）は32.8%となっている。

しかし、年齢の上昇とともに日常生活に影響が「全くない」は減少していき、「影響がある」が増加している。

【地域別】

「全くない」の割合は「県央地域」が39.5%で最も高く、次いで県南地域・離島地域・県北地域・島原半島地域となっている。

一方、「大いに影響がある」の割合が最も高かったのは島原半島地域の11.6%であった。

【性別】

「多様あるが気にならない」「少々影響がある」「大いに影響がある」のいずれも女性の方が男性よりも割合が低く、「全くない」は3.2ポイント高くなっている。

【年齢別】

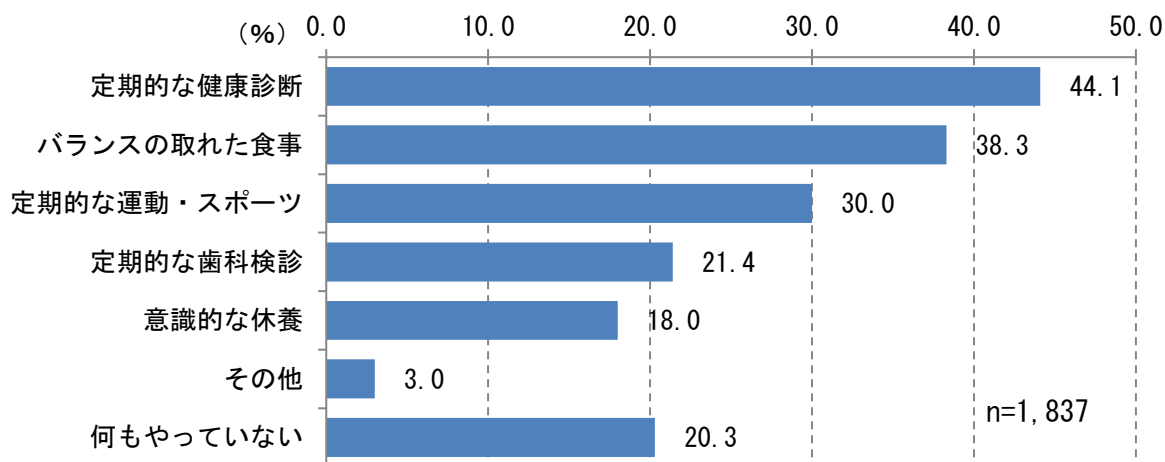
「全くない」の割合は年齢の上昇とともに低くなり、「大いに影響がある」の割合は年齢の上昇とともにおおむね上昇している。

問 12

あなたは、普段から健康の維持・増進のために何か行っていますか。  
(〇はいくつでも)

【調査結果 (ポイント)】

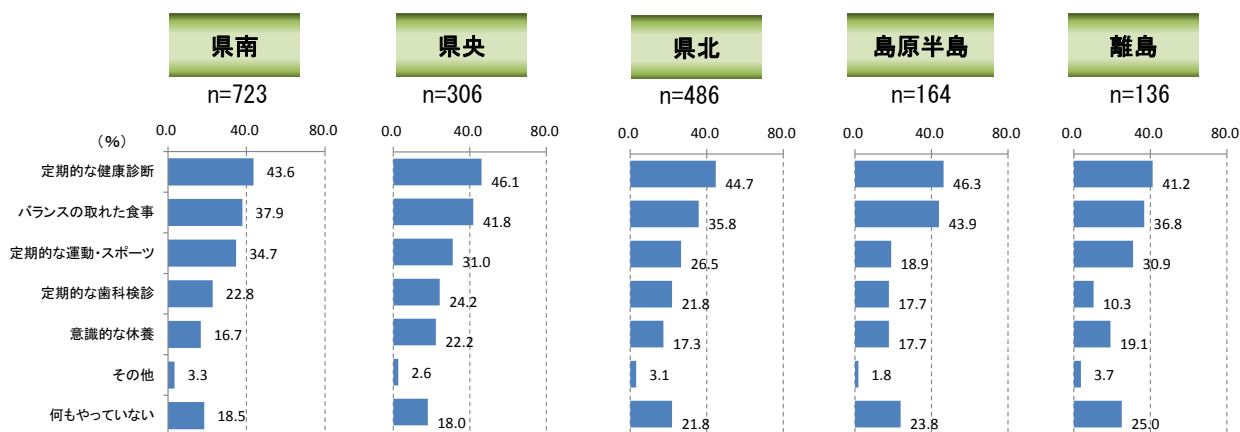
普段から健康の維持・増進のために行っていることは「定期的な健康診断」がトップ



【全体】

普段から健康の維持・増進のために行っていることは、「定期的な健康診断」が 44.1%で最も多く、次いで「バランスの取れた食事」「定期的な運動・スポーツ」と続いている。一方「何もやっていない」は 20.3%となっている。

【地域別】

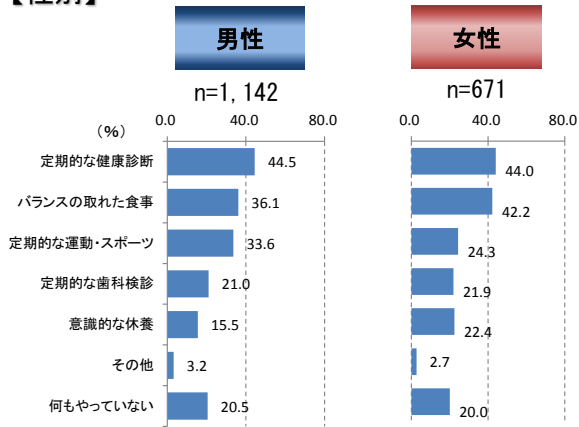


【地域別】

地域別での傾向に大きな相違は見られないが、離島地域で「定期的な歯科検診」と「意識的な休養」の順位が全体の結果と入れ替わっている。

「何もやっていない」の割合が最も高かったのは離島地域であった。

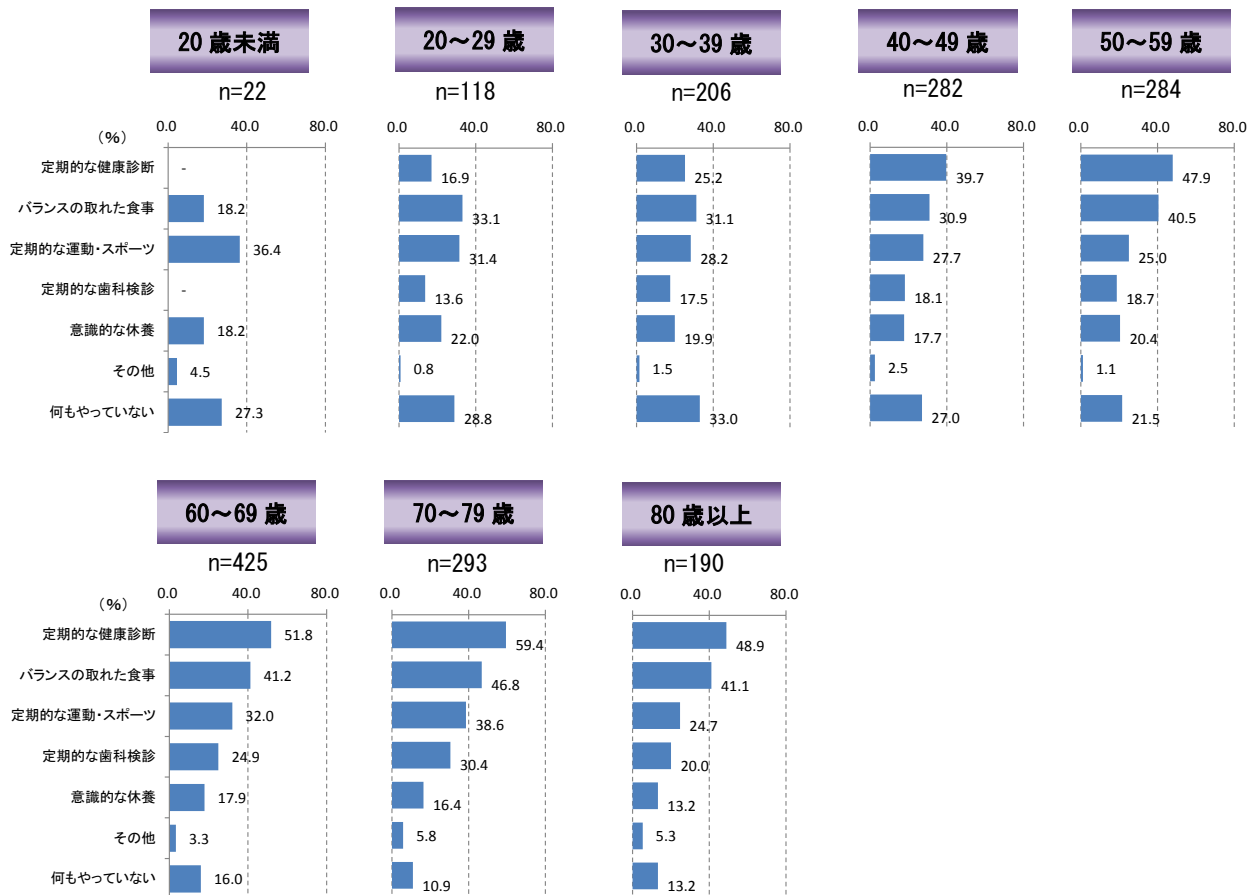
## 【性別】



## 〔性別〕

性別での傾向に大きな相違は見られないが、「定期的な運動・スポーツ」は男性がやや高く、「バランスの取れた食事」「意識的な休養」は女性がやや高くなっている。一方、「何もやっていない」は男性、女性ともほとんど変わりはない。

## 【年齢別】



## 〔年齢別〕

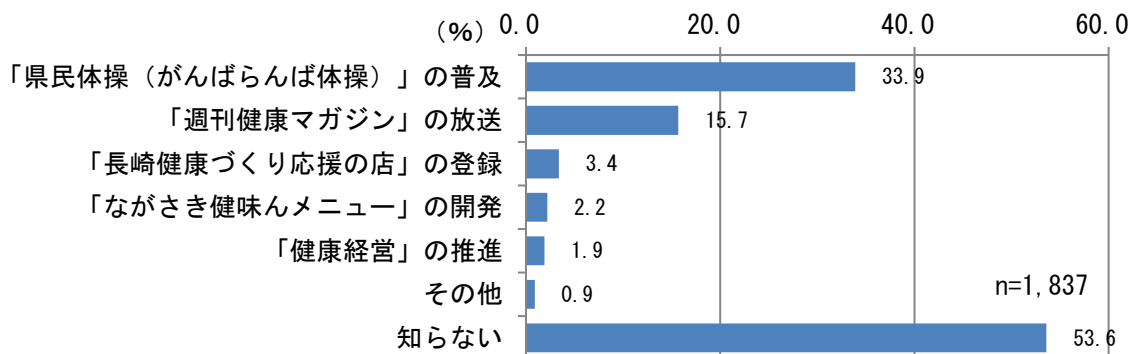
40歳以上では、上位5項目で大きな順位変動はほぼ見られない。39歳までは「定期的な健康診断」及び「定期的な歯科検診」の割合が低くなっており、20歳未満ではこの他「バランスの取れた食事」の割合も18.2%と「定期的な運動・スポーツ」を下回っている。

問 13

あなたは、健康づくりのために長崎県が行っている取組を知っていますか。  
(〇はいくつでも)

【調査結果 (ポイント)】

長崎県の取組認知度が最も高いのは「県民体操 (がんばらんば体操)」の普及で約3割  
取組を「知らない」は約5割

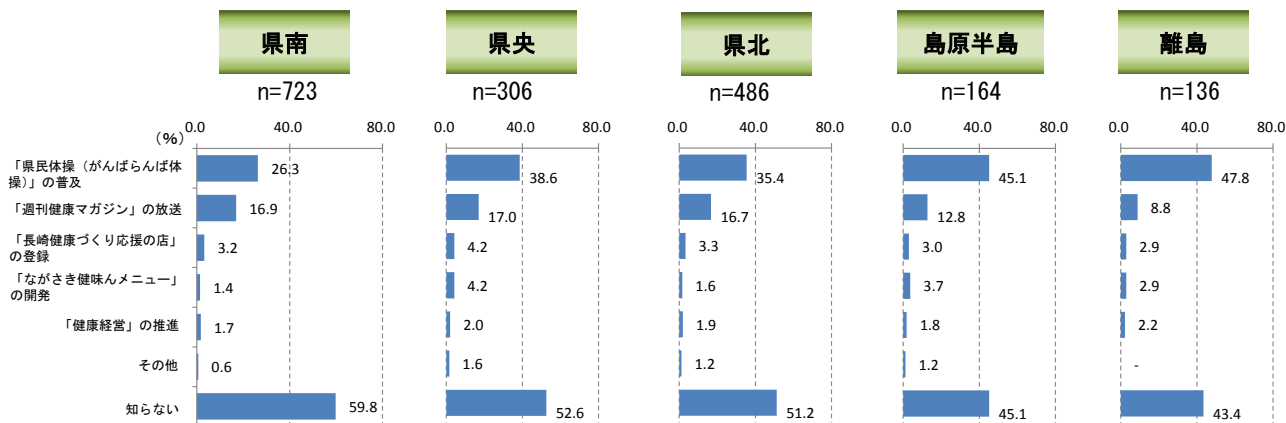


〔全体〕

長崎県が行っている健康づくりのための取組認知度は、最も高い「県民体操 (がんばらんば体操)」の普及が33.9%、次いで「週刊健康マガジン」の放送であった。

一方、取組について「知らない」と回答したのは53.6%と半数を超えていた。

【地域別】

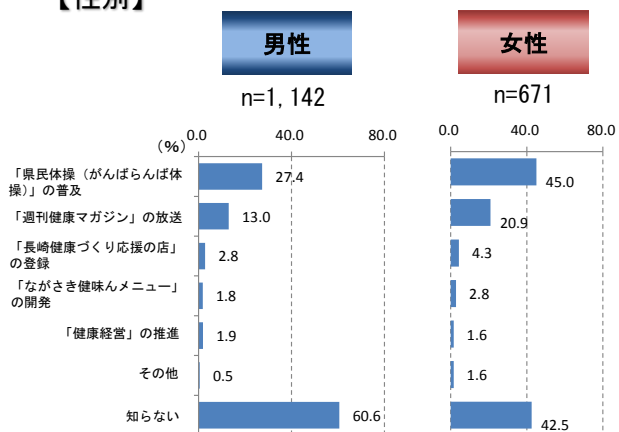


〔地域別〕

地域別での傾向に大きな相違は見られないが、最も認知度の高い「県民体操 (がんばらんば体操)」の普及は離島地域が47.8%、島原半島地域が45.1%と約5割となっている。

一方、「知らない」の割合が最も高かったのは県南地域の59.8%であった。

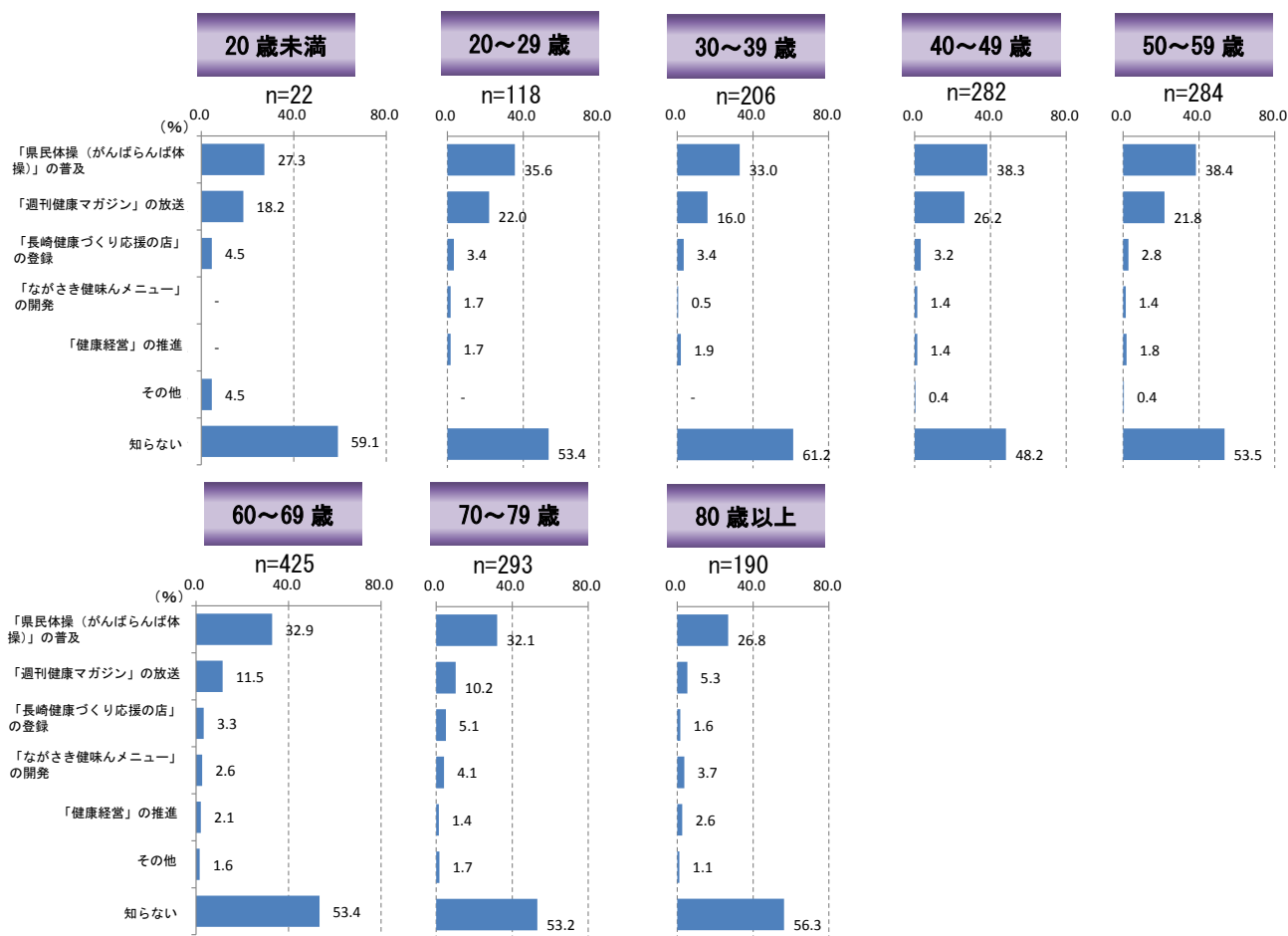
## 【性別】



## 〔性別〕

男性と女性では、「健康経営」の推進以外はすべて女性の方が認知度が高く、「県民体操（がんばらんば体操）」の普及で、女性は45.0%であるのに対し、男性は27.4%となっている。また、「知らない」の割合は女性が42.5%と男性の60.6%を18.1ポイント下回っている。

## 【年齢別】



## 〔年齢別〕

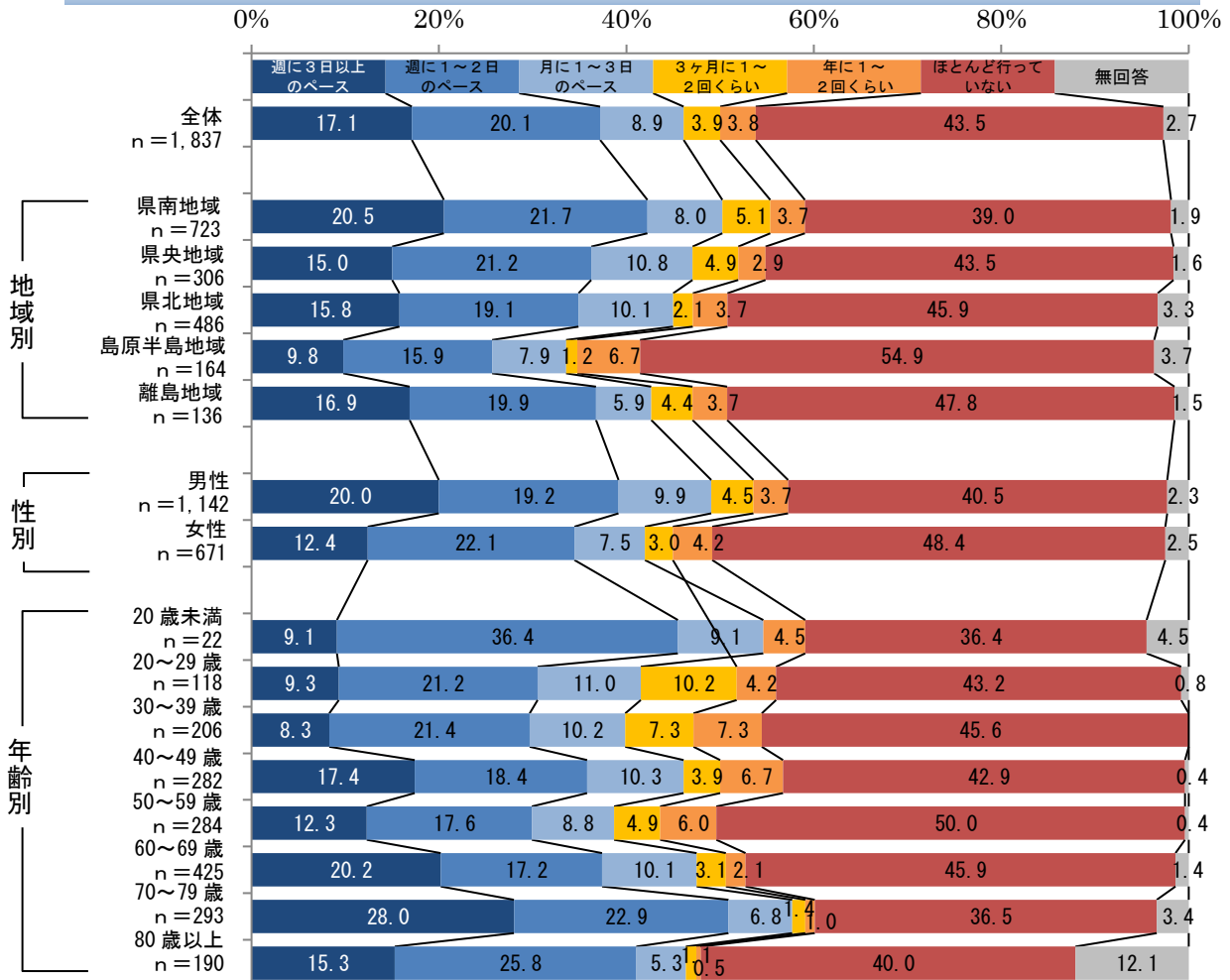
年齢別での傾向に大きな相違は見られないが、「週刊健康マガジン」の放送について最も認知度が高いのは40歳代の26.2%であった。

一方、「知らない」の割合が最も高いのは、30歳代の61.2%であった。

問 14 あなたが運動やスポーツを行う頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)

【調査結果 (ポイント)】

週1回以上の運動の実施は約4割、ほとんど行っていない約4割  
週1回以上の運動の実施割合が高いのは70歳以上と20歳未満



【全体】

「ほとんど行っていない」が43.5%で最も多く、次いで「週に1~2日のペース」「週に3日以上ペース」と続いており、「週1回以上運動を行っている（週に3日以上ペース+週に1~2日のペース）」は37.2%であった。

【地域別】

全体との傾向の相違は見られないものの、「ほとんど行っていない」の割合は島原半島地域が54.9%で最も多く、次いで離島地域・県北地域が続いている。

一方、「週1回以上運動を行っている」割合が最も高かったのは県南地域の42.2%であった。

【性別】

全体との傾向の大きな相違は見られないが、女性の方が「ほとんど行っていない」は7.9ポイント高く、「週1回以上運動を行っている」は4.7ポイント低くなっている。

【年齢別】

年代により大きな相違が見られ、「ほとんど行っていない」は20歳未満が36.4%と低く、「週1回以上運動を行っている」は70歳代の50.9%が最も高くなっている。一方、30歳代・50歳代は「週1回以上運動を行っている」が30%を切っており、20ポイント以上の乖離がある。

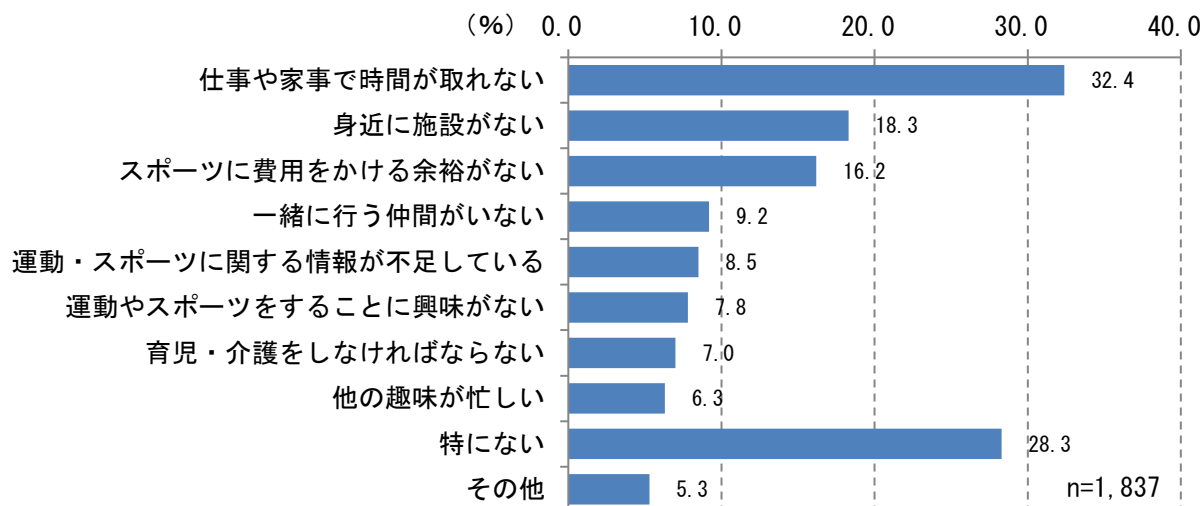


問 15

あなたが運動やスポーツを行う際に、困っていることや妨げになっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

【調査結果 (ポイント)】

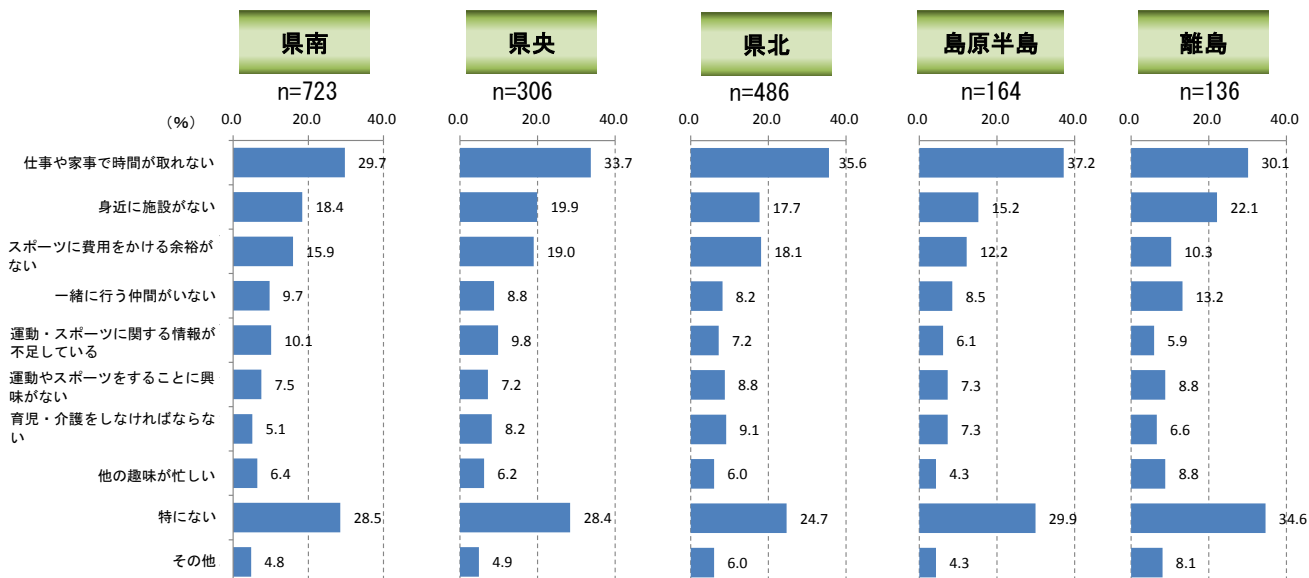
スポーツを行う際の妨げは「仕事や家事で時間が取れない」がトップ



【全体】

運動やスポーツを行う際に、困っていることや妨げになっていることは、「仕事や家事で時間が取れない」が32.4%で最も多く、次いで「特にない」「身近に施設がない」が続いている。

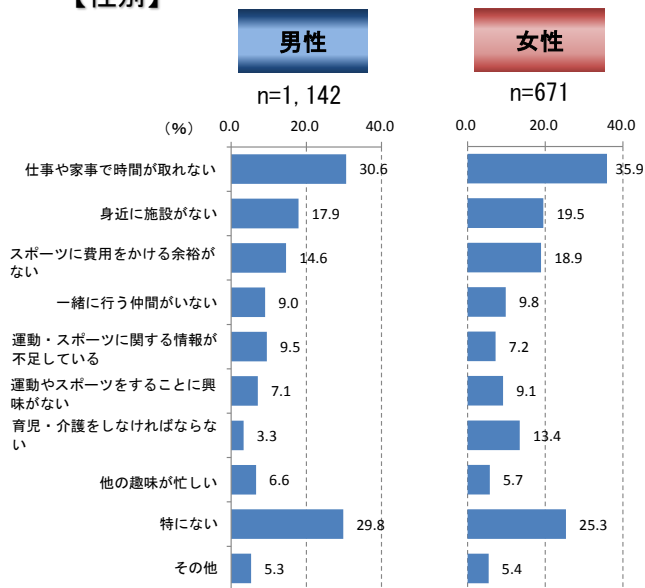
【地域別】



【地域別】

上位5項目で地域別による全体の結果と傾向の相違が見られるのは、県南地域・県央地域で「運動・スポーツに関する情報が不足している」が5位、「一緒に行く仲間がない」が6位となっている。県北地域で「スポーツに費用をかける余裕がない」が3位、「身近に施設がない」が4位と入れ替わっている。また、離島地域で「特にない」が1位になり、「一緒に行く仲間がない」が4位、「スポーツに費用をかける余裕がない」が5位となっている。

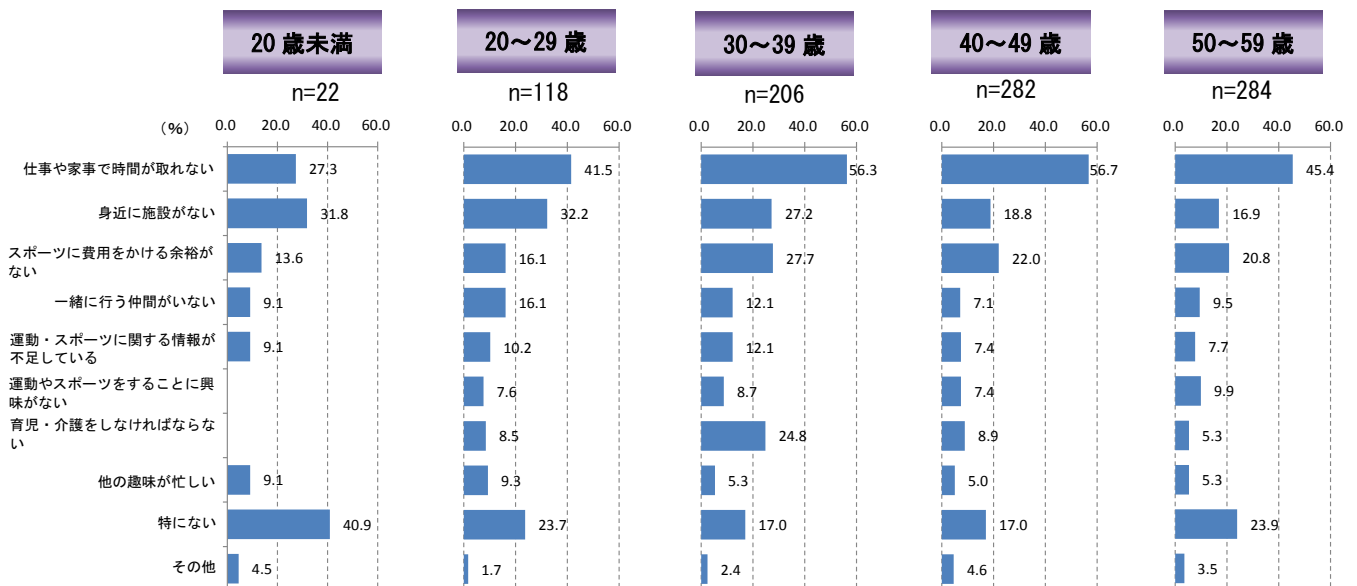
## 【性別】

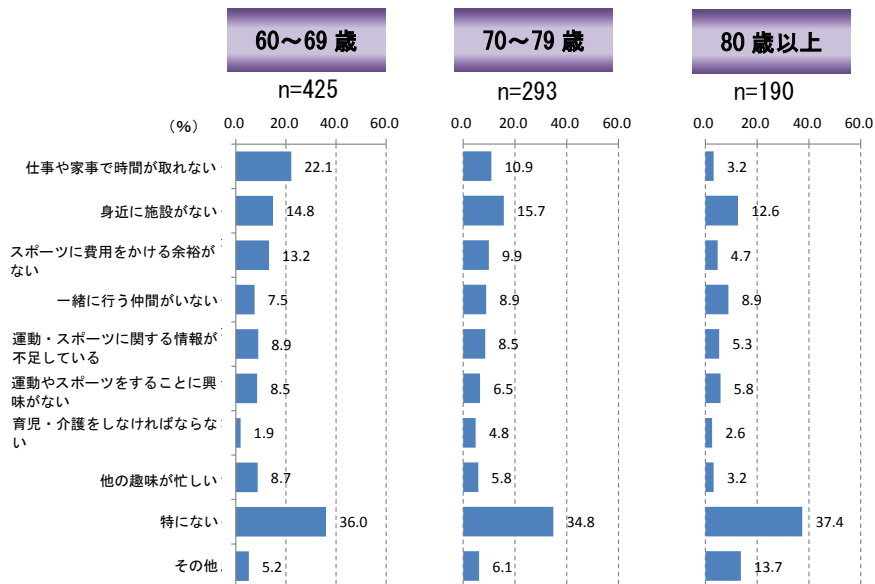


## 〔性別〕

性別での傾向の相違は、女性は「育児・介護をしなければならない」が13.4%で5位となっており、男性の3.3%とは10.1ポイントの乖離がある。

## 【年齢別】





〔年齢別〕

上位5項目での年齢による傾向の相違は大きく、相違点は20歳未満・60歳代以上では「特にない」が1位、20歳代は「身近に施設がない」が2位、30歳代は「育児・介護をしなければならない」が4位、40歳代は「スポーツに費用をかける余裕がない」が2位、50歳代は3位、などライフステージによる差が表れている。

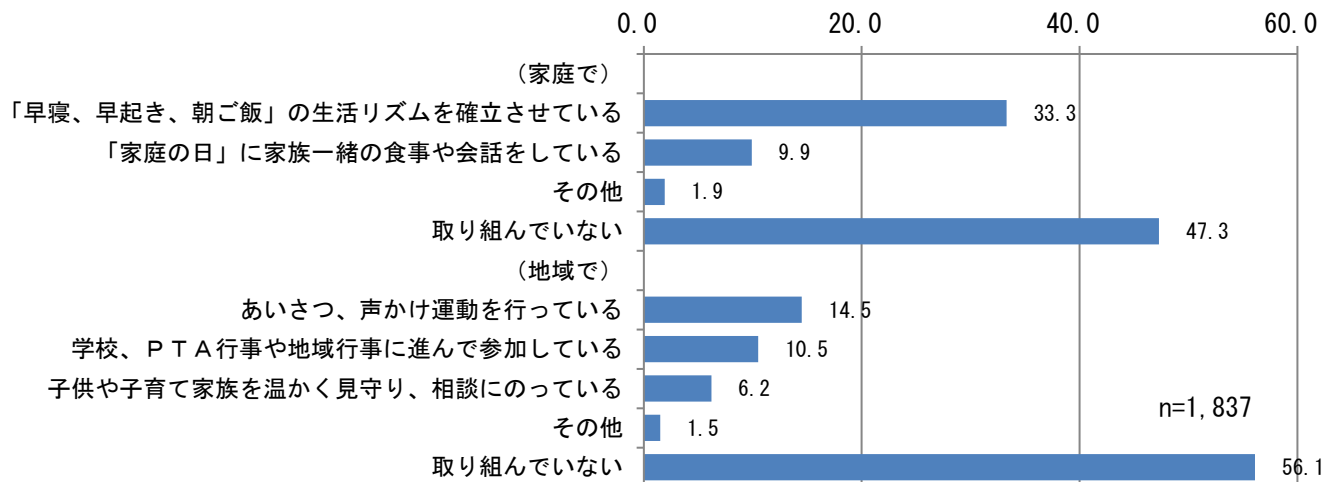
## 【子育て支援について】

問 16

現在、県では地域子育て支援として「ココロねっこ運動」を行っています。あなた  
はどのようなことに取り組んでいますか。  
(〇はいくつでも)

### 【調査結果（ポイント）】

「ココロねっこ運動」の取組で最も高い項目の割合は  
家庭で約3割、地域で約2割

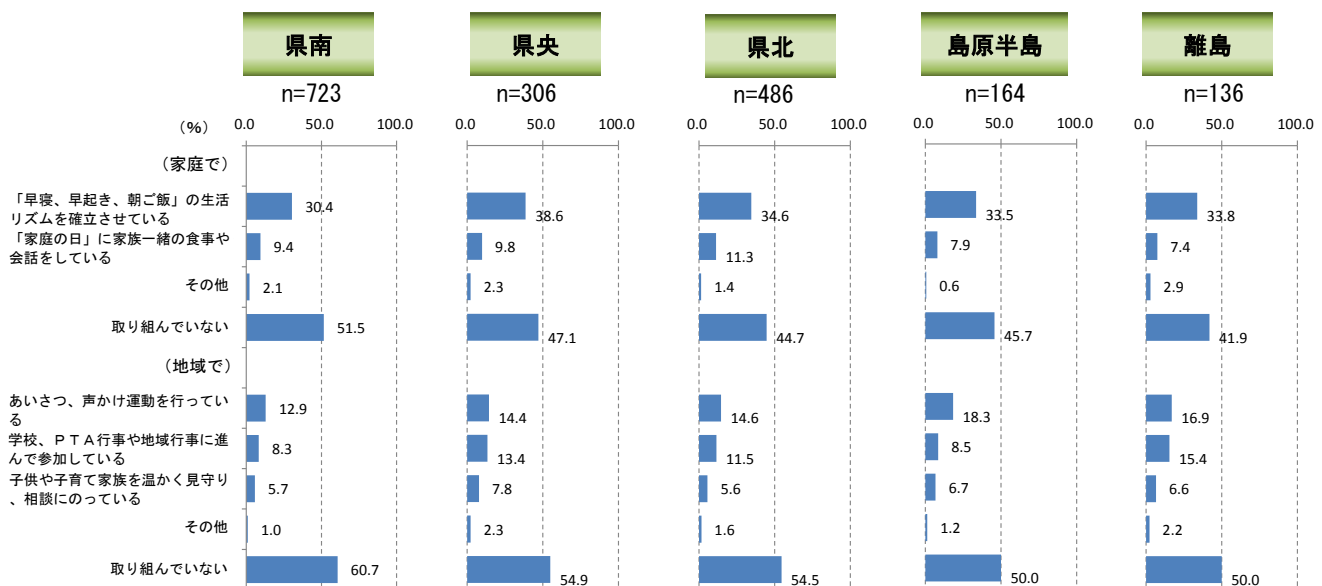


### 【全体】

家庭では、「取り組んでいない」が最も多いが、「早寝、早起き、朝ご飯」の生活リズムを確立させている」が33.3%、「家庭の日」に家族一緒にの食事や会話をしている」が9.9%と、一定の取組が見受けられる。

また、地域でも、「取り組んでいない」が最も多いが、次いで「あいさつ、声かけ運動を行っている」「学校、PTA行事や地域行事に進んで参加している」の取組が見られる。

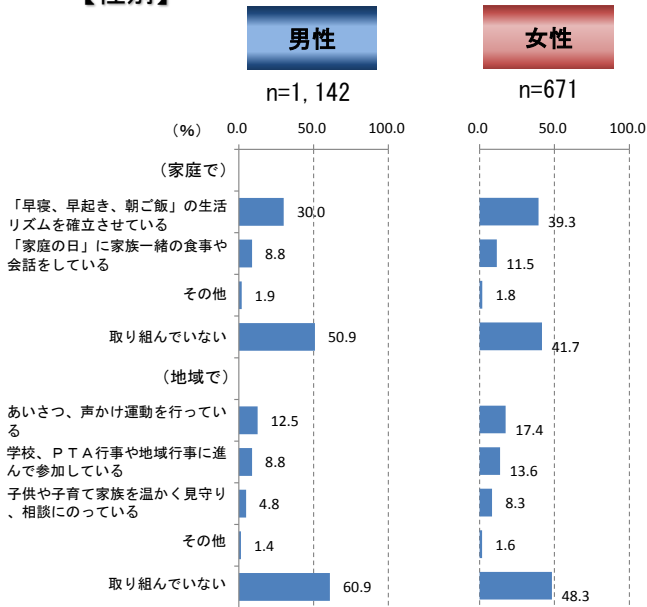
### 【地域別】



### 【地域別】

地域による傾向の相違は見られないが、「取り組んでいない」と回答した割合は県南地域が高くなっている。

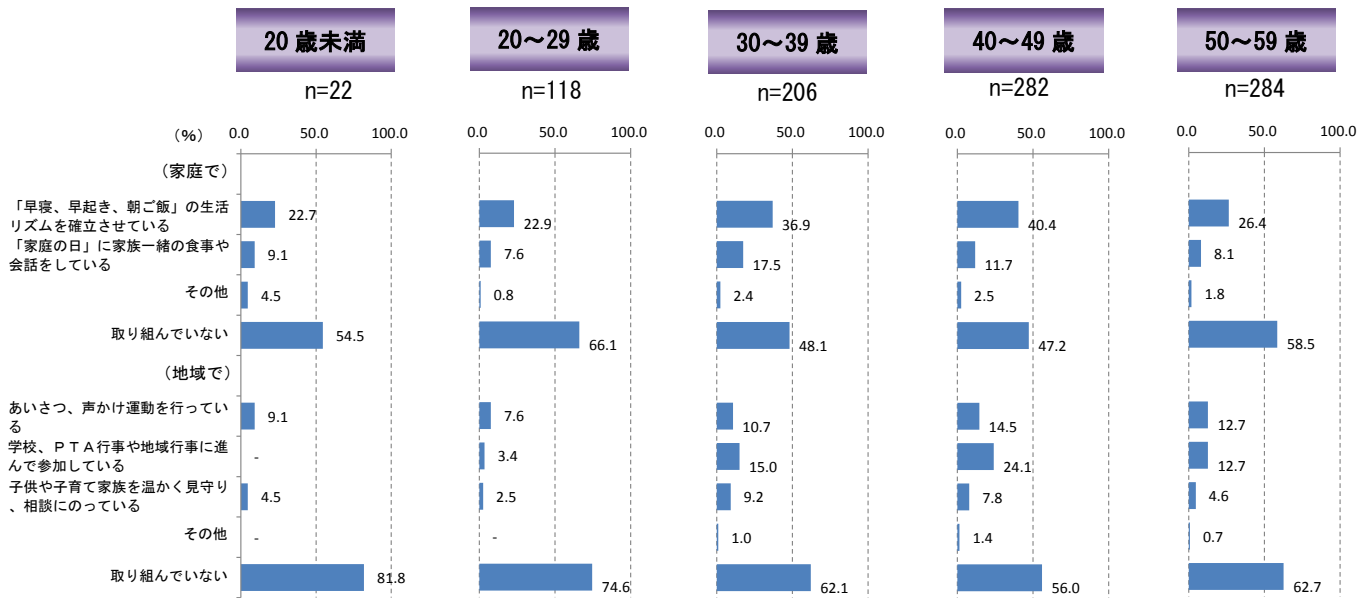
## 【性別】

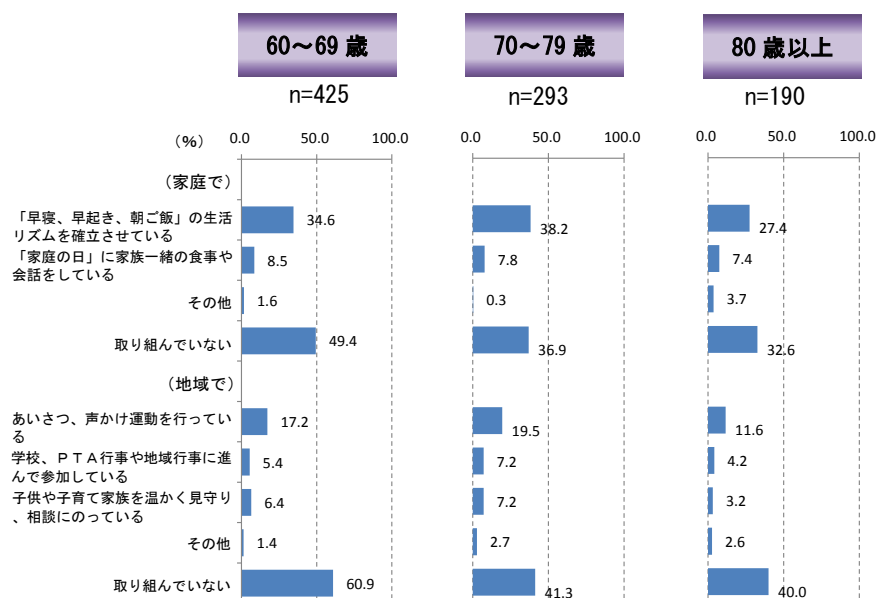


## 〔性別〕

性別での傾向の相違は見られないが、女性は「早寝、早起き、朝ご飯」の生活リズムを確立させている」が39.3%で、男性より9.3ポイント高くなっているなど、女性の方が取り組む割合が高くなっている。

## 【年齢別】





〔年齢別〕

年齢による全体との傾向の大きな相違は見られないが、30歳代・40歳代は年代の上昇とともに家庭での取組が多くなっている。

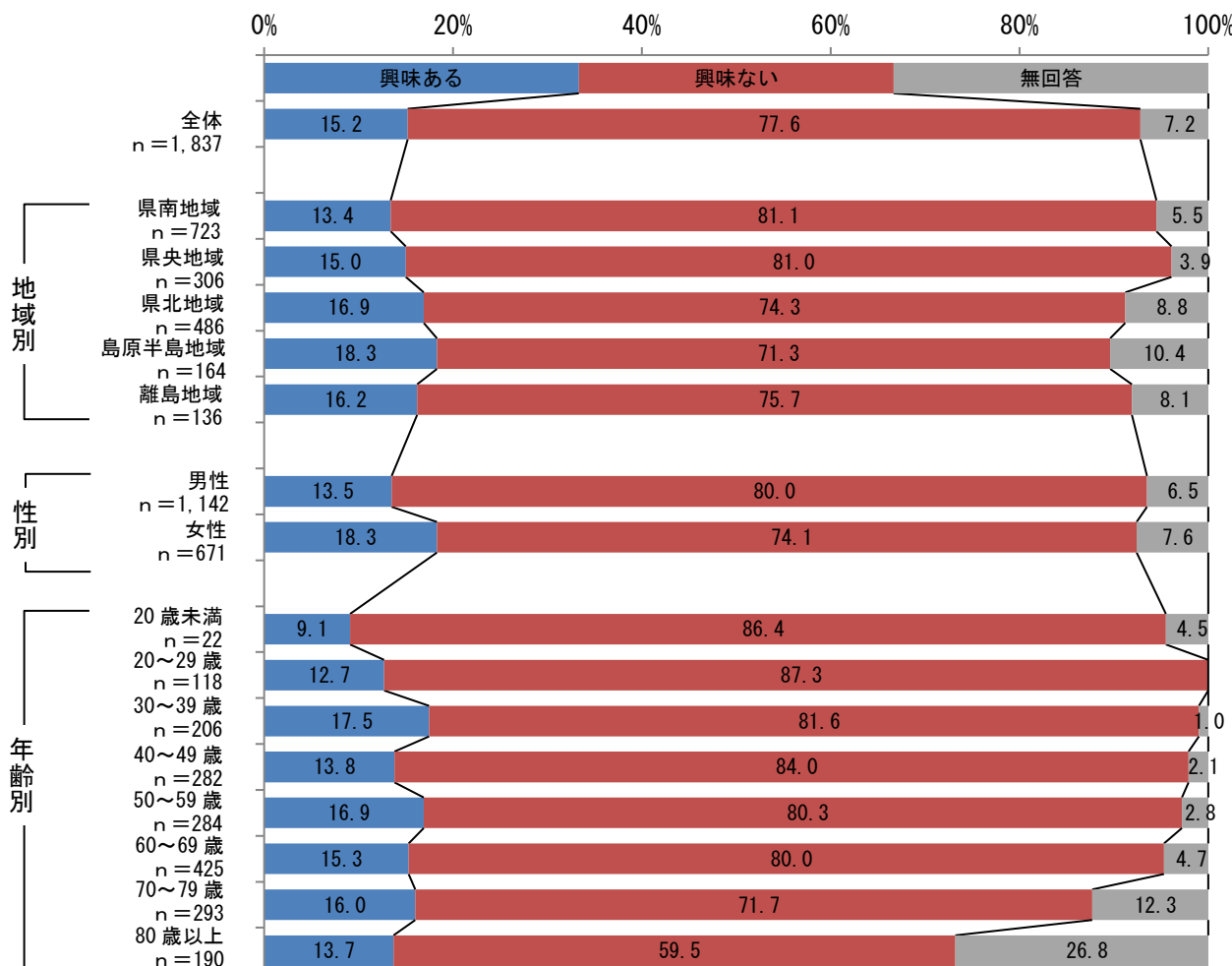
また、地域での取組は年代の上昇とともに多くなる傾向が見られる。

問 17

現在、県では里親制度を広めるための取り組みを行っていますが、あなたは、「里親」について興味はありますか。(○は1つ) また、興味がある方は、今後どのようなことを知りたいですか。(○は2つまで)

【調査結果 (ポイント)】

里親制度に興味あるのは約 2 割  
里親制度について知りたいことは「里親制度の内容」



〔全体〕

里親制度に「興味ある」が15.2%で「興味ない」が77.6%であった。

〔地域別〕

地域による全体の傾向との相違はないが、「興味ある」が最も多いのは島原半島地域が18.3%、次いで県北地域・離島地域・県央地域・県南地域の順となっている。

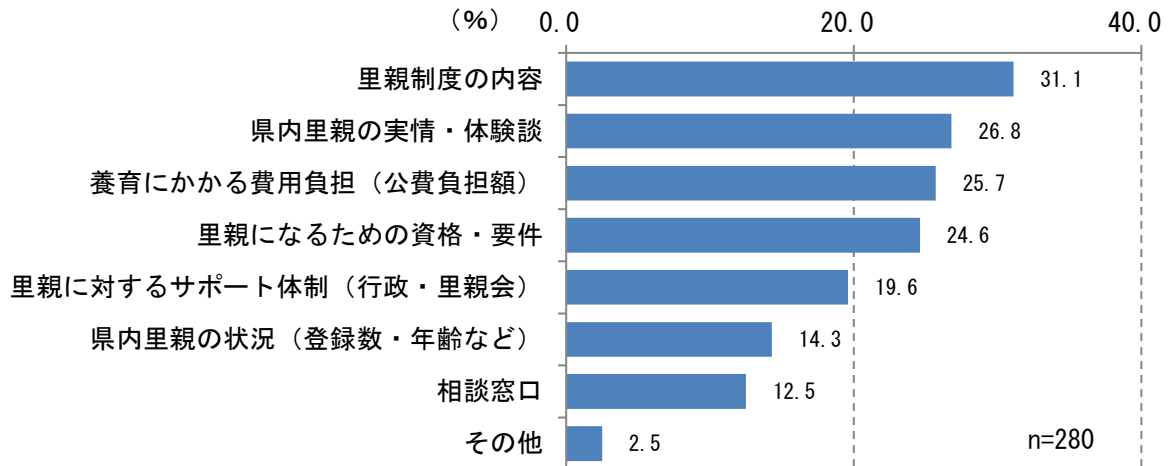
〔性別〕

性別による全体との傾向の大きな相違は見られないが、女性の方が「興味ある」が男性よりも4.8ポイント高くなっている。

〔年齢別〕

年齢による全体の傾向との相違はないが、「興味ある」が最も多いのは30歳代が17.5%、次いで50歳代・70歳代と続いている。

## 【今後知りたいこと】

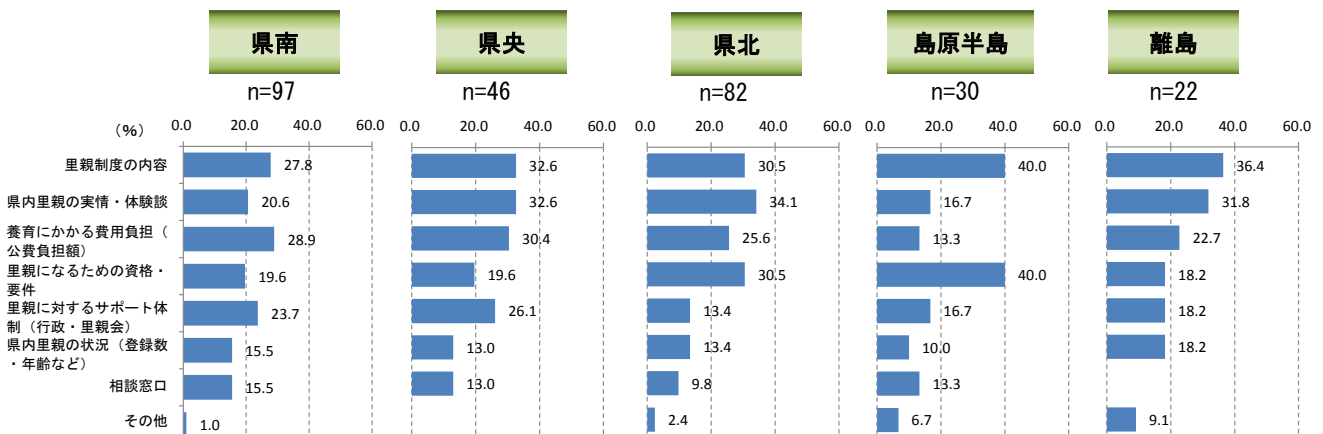


### 【全体】

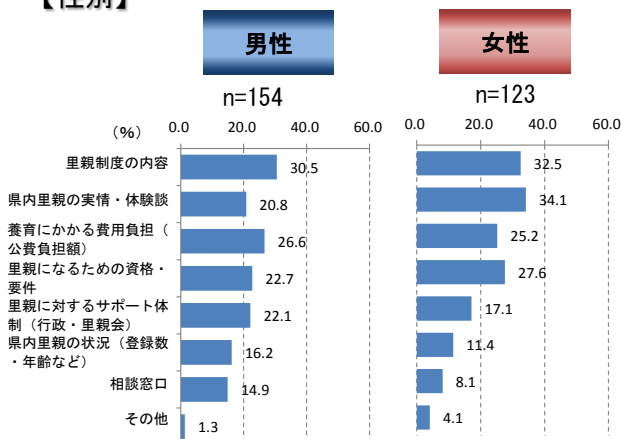
里親制度に興味がある方が今後知りたいこととして、「里親制度の内容」が31.1%で最も多く、次いで「県内里親の実情・体験談」「養育にかかる費用負担（公費負担額）」が続いている。

※地域別・年齢別は母数が小さいため参考として掲載のみとする。

### 【地域別】



### 【性別】



### 【性別】

男性は「里親制度の内容」が全体同様1位となり、女性は全体と異なり「県内里親の実情・体験談」が1位となっている。



## 【年齢別】

